

# ΚΟΣΜΟΣ

## 特集 私の本の整理術

自作の本棚で/わが家の「お茶の間シンドローム」は間近?/最高の本棚/苦肉の積み重ね/夢の本棚/神保町、古本屋街探訪記



AUTUMN

1998

NO.123

## 《特集》

## 私の本の整理術

書評で刺激をうけたり、書店で手にして買ってしまった本が、気がつくと本棚に収まり切れなくなっている。雑誌などは処分するが、単行本には思い出のあるもの、まだ読んでいない本もあるから捨てられない。決心して古本屋に持って行く。定価の20分の1ほどの安値に、これなら家に置いたほうがよいと持ち帰る。本を減らすのは至難の技である。

本と人との快適な関わりかたと、整理法のヒントを探ってみたい。

## 自作の本棚で

浜 素紀

本を沢山かかえての勉強や仕事をする者にとって何か特別な整理の秘伝があったら是非聞きたいところだ。誰でも同じようにしているのだろうかと思うのだが、僕のところも単行本と雑誌類に分け、ジャンル別、年代別で区分けし、使う頻度によって机の前からの距離が違い、平らに重ねるか縦に並べるかぐらいのことである。量としては自動車関係が最も多く、次にデザイン、美術ものなどである。

自動車雑誌は古いものは大正時代から戦前、戦後にかけて昭和50年代あたりまで、外国誌では1890年代からあるがそれらは父親が買い集めたものが多い。1920～30年代のもの、1950～60年代のものを大切にしている。30歳頃から幾つかの自動車雑誌とのつきあいがあり原稿を書いて来たので昔の雑誌はネタになることが多い。1970年代以降のものは殆ど興味がなく、また僕自身の守備範囲でもないで自分では買わないし、寄贈のものは1年分まとめて友人に進呈している。

収納する本棚の形も整理法のポイントだがこれは殆ど自作のものである。昔家を建てたときに自室の戸棚の中に9ミリベニアを組み合わせて数段の

棚を作り、ここへは使用頻度の少ないものを入れている。部屋に置く本棚は、教会が放出した不要となった長椅子を沢山もらって来て分解し、堅木の板材を組み合わせて作った。長さ2.5メートル、高さ1.5メートルばかりだが一体ではとても重くて移動ができないので2段ずつの組み立て式に作った。これは結構気に入って大いに役立っている。

図書館司書をしていた家内は結婚直後、僕の部屋一杯に乱雑に散らばっていた沢山の本を仕分けして一挙に片付けてくれた。この鮮やかな手際での分類と収納の巧みに驚き感謝もしたが、他人の整理したものの中から自分の欲しいものをひとつ探しだすのは、見知らぬ本屋の書棚から目指す一冊を見つけるようなとまどいもある。奥と手前に二段に入れたものは目が届かず直更のことである。ところが数年前に彼女はこの本棚に再び手を入れ中の分類を更に改めたのである。或とき講義の準備に昔のノートがどうしても見つからず面喰ったことがあった。夫の部屋の整頓にまで覇権を及ぼそうとする妻の意気込みには、いささか困らせられることもある。

(はまもととき 工業デザイナー 元機械工学科非常勤講師)

## わが家の「お茶の間シンдрローム」は間近？

根岸 哲也

negi@asaka.toyo.ac.jp

本を整理するのは大好きだ。本棚を前に、出版社だの、著者だの、ジャンルだの、並べ方をああでもない、こうでもないと考えているときは至福の瞬間だ。けれども、そんな至福を味わえなくなって随分たつ。

今日、MTBで吉祥寺へ行った。片道30分の自転車散歩。友人が古着屋を開店したというのでのぞきに行ったのだ。ついでにP書店に寄る。ときどき訪れる街には、それぞれお気に入りの本屋がある。新宿はK、池袋はAとJ、下北沢はO、神保町はS、吉祥寺はここ。そして概ねはまとめ買いということになる。このときの買い物は—「カリスマ」佐野真一、「坂の上の雲 六」司馬遼太郎、「永遠の都 5 迷宮」加賀乙彦、「なぜ会社は変わらないのか」柴田昌治、「フロスト日和」R・ウィングフィールド、「白旗伝説」松本健一、「死の病原体プリオン」R・ローズ、「三本の矢 上・下」榊東行、「グランド・ミステリー」奥泉光、「常陸坊海尊／かさぶた式部孝」秋元松代、「星界の紋章 II」森岡浩之、「森田療法」岩井寛、「カラフル」森絵都、以上14冊。

買い物の後、喫茶店などに行って、買ってきた本を1冊ずつ眺めたり、あとがきや解説や最初の何頁を読んだりするのが、本を選ぶことに続く第2の至福だ。

吉祥寺の場合は、これを井の頭公園内の動物園で行う。中東の砂漠に生息する狐＝フェネックを眺められるベンチで本を取り出す。なんと幸せな瞬間。

そして、家に帰ってから、以前は第3の至福が待っていたのだが、最近はそれもなくなった。そう、冒頭に記した「本を整理する喜び」が。

前述のような本の買い方（公園からの帰途でも古本屋で絶版本を漁った）のために、通販で天井までの棚があるつっぱり式の書架を8つ買ったのが3年前。

今では窓があったはずの面も含めた6畳間の4壁面のうち3.8面が本棚になっている（0.2面は出入口）。

その棚もいっぱいになって1年がたつ。それ以降に買った本は全て床に積みっぱなし。多くの図書館でも棚不足の悩みを抱えているが、本が捨てられない性分もあり、増えていくのみで、わが部屋は棚どころか床不足にさえ陥っている。

部屋が2階で、床が抜ける恐れがあり、家族からは、これ以上、本を増やしてはいけないと警告されている。そのため、こそこそと部屋に本を運び入れる様子は、まるで中学生が“有害図書”を買ってきたときのようなのだ。

「チャイナシンдрローム」という言葉はアメリカで原発事故が起こった場合、溶解した炉心が地球の裏側の中国に突き抜けてしまうという想像に基づいているが、わが部屋の床を突き抜けた大量の本が降り注ぐ先はお茶の間。さしずめ、わが家は常に「お茶の間シンдрローム」の危機にさらされていると言えよう。

このような状態であるのに、図書館が利用者に提供する廃棄雑誌まで喜んで持ってくるから始末が悪い。雑誌は努めて捨てるようにしているが、それでも「Hanako」の「男性にも読んでほしいデート特集」なんていう号はいつか役に立つときがくるのではないかと捨てられず、それでいて役に立ったためしがない。

失った「本を整理する喜び」を取り戻すには、宝くじでも当たって、家を建て直して書庫をつくるといった方法しかないだろう。だから「クロワッサン」の収納特集の「玄関からリビング、2階の吹き抜けまでの書架」の写真を見て、あこがれのため息をついている。そんなわけで、この雑誌も捨てられない。

（ねぎし・てつや 朝霞事務部教務課）

## 最高の本棚

林 円

私は国文学専攻の大学院生である。と、いう事は一般的に考えて、現在東洋大学で一番本を読んでいる学生の一人である筈だ。

しかし自室の小さな本棚を覗いてみるに、その量は驚くほど乏しい。『私の本の整理術』を語る程の本が無いのである。去年卒業論文を書き上げたが、その関連のものでさえ今はほんの二、三冊しか置いていない。

一体どうしてそういう事になったのだろうか。

今回この『私の本の整理術』という原稿の依頼を受けて初めて真面目に考えてみたが、私はどうも図書館を利用しすぎているきらいがあるのだった。

論文やレポートを書く度に、本はどうしても必要になる。そんな時、私は真っすぐ図書館に向かう。

欲しい論文や資料をコンピューターで検索してリストアップしたり、館内をぶらぶらして興味を感じたタイトルの本を選び出して本を取り出すと、それらの本を机の左右にリッチな気分で無造作に積み上げる。

最初はぺらぺらと眺めながら読み進め、気に入れば簡単な手続きをして持って帰る。家で時間の許すままに読んだ本のうち、それでも手元に残して置きたい本を、初めて購入する。

そうやって来たため、私の本棚は自分の整理術を語るまでに充実してはいないのである。

最近大学院に進んでからさすがにいくつか外せない本が並ぶようになったが、まだまだ蔵書と呼ぶには程遠い。たまに、白山から地下鉄で神保町に出て古本屋街を半日かけて歩き、安い文庫や不揃いの全集の一部を得た気分を買って来たりする。徒然草なら「不具なるこそよけれ」と誉めてもらえるだろうが、現代の感覚から言うと、あまり見栄えのするコレクションではない。

読み進めるままに本を集めてしまうと膨大な量になってしまう事になる上、御多分に漏れず私は貧乏でもある。そんな訳で、私は今日もせっせと図書館通いを繰り返すのである。

『私の本の整理術』とは、結局それを語るほど本を持っていない我々学生にとっては、図書館を自分の『最高の本棚』にして、図書館職員の方々に整理を肩代わりしてもらうのが利口なやり方なのではないだろうか。

我々の利用次第で、どんな図書館も「最高の本棚」になるのだから。

(はやし・まどか 国文学専攻博士前期課程一年)

## 苦肉の積み重ね

中山 尚夫

「蔵書の整理に四苦八苦あるいは悪戦苦闘している先生をご紹介いただけませんか。」という本図書館員の方からの御依頼に「何故？」と問いかけたところ、この企画を打ち明けられた。だがほとんどの教員はこれに該当するであろうし、かと言ってそれを書いてくれる人はほとんどいないであろうという難題である。この筆者も当然そうであるのみならず、惨状と言うには大げさであるが、それに近い状態の中にいる。ところが「それをそのまま書いていただければ」と、話は急転直下、決定。そこで、恥をしのいでその“悲惨な”状況をご披露することでお茶を濁そう。

決して多くはないが、筆者の蔵書・資料は今、実家・現住居・白山研究室の三箇所に分散されている。当面必要なものは現住居、新しく購入したもののほとんどは研究室、それ以外のものが実家で、実家にあるものの分量が圧倒的に多い。これは現住居が狭いゆえの苦肉の策で、したがって系統だった整理は仕様もなく、はなはだ不便をきたしている。しかも毎日の仕事の中で必要な文献や資料は増えてゆくのが当然で、現住居の居間の隅には実家や研究室から移動した本やコピーが日々積み重ねられ、これが徐々に増えて整理からはますます遠ざかり、家人にも迷惑をかけているというのが現状である。

かつては蔵書・資料を、目録類事典類といった参考図書、専門分野の全集・叢書類、他の全集・叢書、専門分野の研究書、他の研究書、古典籍、

雑誌類、コピー・写真類、その他の資料、教養・娯楽図書などに分類、それをさらに細分化し、書型ごとに書棚や箱に並べたり入れたりかなり正確に整理して、自分なりに活用の便宜を計っていたが、分量の増加や住宅事情の変化に伴い、今は昔の話になってしまった。使ったものをその都度並べるといふより積み重ねている現在は、次に使用する時に捜し出すまでが一苦労である。ことにコピー類は始末が悪い。散乱状態の時さえある。仕事をしている最中はコピーといわずいつも散乱状態ではあるが、一段落すればそれなりの整理もつくものを今はそれもままならない。少しでも見栄えよく積み重ねる、というのがせめてもの整理術である。

蔵書を手放したり、資料をデータ化したり、もっぱら図書館や研究室を利用したりするという整理方法もあろうが、筆者の場合、研究方法や技術力、性格や習慣の点でそれらは向いていないようだ。背に腹は代えられぬとはいうものの難しい。やはり以前の整理方法がよい。積み重ねられたいくつかの山を崩してはまた積み直したり、実家や研究室と現住居とを何往復もしたり、その挙げ句家人に居間の隅を指さされながら嘆かれたりという悲惨な状況から早く抜け出して、かつてのように自分なりの資料整理ができた状態で日々を送りたいと願いつつ、“私の本の不整理状態”を紹介する次第である。

(なかやま・ひさお 文学部国文学科助教授)

## 夢の本棚

趣味には「行動系」と「籠もり系」があるらしい。平松洋子さん（食品文化ジャーナリスト）は、後者に身を置くお一人ではないであろうか。

深夜思い立って書棚の中身を並べ替える楽しみは、今も変わらない。……(略)……

例によって書棚の中身を並べ替えている時に、友人だった故・寺山修司さんが電話をかけてきて曰く「そんな面白いことやっているの、いいなあ」（『クロワッサン』22巻18号）

平松さんが使っておられる書棚はスチール製のキャビネットらしいが、「収納力にすぐれていて、すっかり気に入って三つも購入しました」と前述の雑誌に書かれてあった。書棚の中身を並べ替えることを楽しみとするぐらいであるから、さぞや使い勝手のよいものなのであろう。

大きな部屋の中に使いやすい本棚。本棚に抱かれるように置かれたテーブルには座り心地の良い椅子が備え付けてある。そんなところで午後の紅茶とスコーン。せめて夢を描こう、本棚の夢。

### ○屋台式本棚

三面を本棚で囲む。中には机にかわる板が据え付けてある。屋台のリヤカーの代わりに脚にキャスターをつける。これで部屋の中を自由に移動できる。心地よい風が入ってくる日には窓際に移し、本日の運勢で南東が「吉」と出ればそちらを向けて、というように自在である。方位にこだわるあなたに、特にお勧めの一品である。

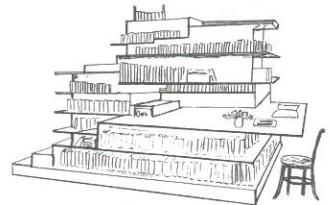


岡本 久美子

kumi2622@toyonet.toyo.ac.jp

### ○城閣型本棚

移動式とは逆に部屋の真ん中に、堅牢にそびえ立つ城のような本棚である。本棚は壁面に置くとい



う固定した考えを転換して、部屋の真ん中に置いたところがミソである。大きなものであるから、高い所に置いた本は取りづらい。そこで天守閣にのぼる時のようにように階段を設えた。仕事や読書ができるように、机代わりになる広い板もつけた。辞書類などは広い板の上に、利用頻度の少ない本は上段に、美術関係の重い本、大型本は下に置きたい。石垣ならぬ本垣でうまった本棚はまさに城のようである。

### ○回転式本棚

書店でも旅行ガイドブック、絵本などに使われている。回転させながらお目当ての本を取り出せる不精者には打ってつけの本棚。ベッドの傍らにおいてクルクル、今夜はどの本にしようかな…なんて。



### ○収納式本棚

本が1冊もない部屋。知性の象徴のような本をあえて見せない。ところが扉を開くと収納ベッドならぬ収納本棚。いつでも書斎に変身できる。マニアックなあなたにもお勧めの本棚。

(おかもと・くみこ 図書事務課主任)

参照図書「decoración4」（白山開架）757,8:D:1-4

# 神保町、古本屋街探訪記

布施 賢治

みなさんは、古本屋というものにどんなイメージを持っていますか？私は、単純に誰かが読み終わった本を安く売っている店のことかと思っていました。確かにこのイメージは間違いではありませんが、それだけではありませんでした。特に神保町の古本屋街は……。

神保町には、古本屋がおよそ140軒あり、それぞれ得意な分野があります。例えば、文学、法律、経済等はもちろん、動植物、古地図、絶版マンガ、雑誌、豆本、写真集、アイドル、映画などなどのジャンルの専門店があり、古本屋街をころがっていくだけでも興味のある本と出会えたりしますよ。ただ、140軒もあるからある程度のメボシを付けておかないと、足を棒にするだけです。できれば、行く前にホームページ（BOOK TOWN 神田→<http://www.book-kanda.or.jp/>）を見てから出かけることをお勧めします。ちなみにこのホームページは、古書業界の神田支部が'96年10月にスタートさせたもので、内容は神田の街の情報、古本屋や飲食店の紹介、周辺の地図等で、中でも便利なのは、扱っている本のジャンル別に古本屋を検索できることです。一見の価値ありですよ。

さて、興味のあるジャンルが決まったらまず図書館で下調べをしましょう。図書館を利用すれば経済

的に予備知識を身に付けることができますよね。神保町駅を降りて、とりあえず靖国通りをころがってみました。最初入った金子書店は、社会福祉関係に強いようですね。法律や経済書もありました。次に悠久堂書店に入ります。ここは、山岳、料理、美術……趣味の店か？たのしい店だ。また来よう。次は玉英堂書店。ここは稀覯本<sup>きこうぼん</sup>が見られるので有名です。平安～江戸時代の本や巻物から、近代では芥川龍之介、三島由紀夫等の原稿が展示してあります。金額は……えーと、見なかったことにしよう！

少し疲れたのでお茶にしよう。路地を入るとコーヒーの香ばしいかおりが……。「ミロンガ」（コーヒーとビール）と「ラドリオ」（コーヒーと洋酒）を発見。どっちの店に入ろうか…？悩んだ挙句、コーヒーのはしごをして帰りました。この他にもたくさんおいしいお店がありますので、搜してみてください。

古本屋街は安い本もたくさんありましたが、希少本、名本、珍本、絶版本などなど、高価な本もたくさんありました。みなさんも秋の一日を「神保町ころがり」なぞ、いかが？

（ふせ・けんじ 朝霞分館事務室）

## 「整理」に関する蔵書

- 「整理技術テキスト：簡素化のてびき」  
（日本図書館協会整理技術委員会編）  
（白）014:N-3:3 （朝）014:N （工）014:N
- 「整理学：忙しさからの解放」（加藤秀俊著）  
（白）文庫・新書コーナー CS:13 （朝）CS:13
- 「整理」（山根一真著）  
（白）002:YK:1-2 （朝）002.7:YK:1-2
- 「『超』整理法：情報検索と発想の新システム」（野口悠紀雄著）  
（白）文庫・新書コーナー CS:1159  
（朝）ブラウジングコーナー 97:21
- 「『統』整理法・時間編」（野口悠紀雄著）  
（白）文庫・新書コーナー CS:1222  
（朝）ブラウジングコーナー 97:20
- 「整理する技術」（小沢暢夫著）  
（白・電）014.8:ON
- 「学術情報収集テクニック：インターネットから文献検索・整理まで」（祝部大輔編）  
（白）007.5:HD （朝）002.7:HD （工）002.7:HD  

{	（白）：白山開架	（白・電）：白山電動書庫	}
{	（朝）：朝霞開架	（工）：工学部開架	}

## I N F O R M A T I O N

## お し ら せ

図書館ニュース「ΚΟΣΜΟΣ」はホームページでご覧いただけます。

<http://www.toyo.ac.jp/libra/>

## 白山図書館

## ◎書架の増設をおこないました。

増設工事とともない図書の移動を行います。  
ご不便をおかけしますがご協力をお願いします。  
年内には終了の予定です。

## ◎パソコンが2台増えました。

従来の1~4号機のほかに、OPACコマンド型で2台  
使用できるようになりました。ご利用ください。

## ◎カラーコピー機が設置されました。

B1F文書・新書コーナーに設置しました。  
1枚100円です。

## ◎盗難に注意。

盗難が多発しています。貴重品は必ず身につけ、  
自分の責任で管理をお願いします。

◎館内での「飲食、喫煙」や「携帯電話、PHSの使用」  
は禁止です。◎メディアスクエアの利用時間は4月から9:00~  
20:30と延長しました。◎オープンキャンパス、父兄会、研究会等で図書館  
の施設を見学する方がいますので、あらかじめ  
ご了承ください。

## ◎大学祭期間中の閉館について。

11月12日(木)~16日(月)は閉館です。

## 朝霞分館

## ◎視聴覚個人ブースを10席増設しました。

視聴覚個人ブースを全部で40席にしました。  
これによって、より多くの学生が利用できるよ  
うになりました。

## ◎開館時間を延長します。

朝霞キャンパスにおける学習環境整備の一環と  
して10月、11月の開館時間を次のとおり延長  
しますので、ご利用ください。

月~金曜日 9:00~19:00

土曜日 9:00~16:00

## BOOK TRUCK

読書の秋です。授業も再開し、利用者の皆さんは論文やレポート作成等で忙しく、充実した毎日をお送りのことと思います。

なるべく図書館を利用するようにしても、ついついたまってしまう本や雑誌の山、皆さんはどう整理していますか？今回は蔵書の整理法を特集してみました。

新委員一同、より一層読み易く、親しみ易い誌面作りを心がけています。読書の合間に一人でも多くの方に手に取っていただけたらと願っています。(Y)